

生活

日月火水木金土

家族 働く

介護・シニア 子育て 衣食住

健康

すぐにむせて、呼吸苦しく

紙上
診察室

久田 哲哉さん



Q 息を吸う時や水を飲む時、水や唾液が気管に入り、息がでえず苦しくなります。診療科は？
(女性・74歳)

A 水などが気管に入る症状と、気管に異物が入り息ができない症状が合わさったものと思われます。

前者はいわゆる誤嚥で、あわてて物をのみ込んだ時などに誰でも経験します。物をのみ込む嚥下は、多数の筋肉や神経が関係する非常に複雑な運動です。どれが崩れても、誤嚥につながる状態が頻発に起こる状態です。

誤嚥、けいれんなど検査

状態は、特に高齢者の肺炎の一番のきっかけになります。食べたりのみ込むことに集中することが重要です。また、口やのどの筋肉を鍛えるため、たくさん会話することをお勧めします。それでも誤嚥を繰り返す場合、嚥下造影検査や脳の磁気共鳴画像装置(MRI)などの精密検査が必要で、肺炎予防には口腔内を常に清潔にするのも重要です。

後者は喉頭けいれんが考えられます。突然の刺激で声帯が動かなかくなり、呼吸が一瞬できない状態になる症状で、声帯の筋肉がつかれる状態です。普通すぐ呼吸ができるようになります。心を落ち着かせ息が吸えるようになるのを待ちましょう。

繰り返すようなら、耳鼻咽喉科などの受診を。高齢になると、さまざまな症状にであつので、気軽に相談できるかかりつけ医を持つことを強くお勧めします。(世田谷通り桜内科クリニック院長・東京通信病院客員部長)

あすの紙面

支えられるココロ

難病だけど「一人暮らし」

▼「紙上診察室」への相談は〒100-8525(住所不要)東京新聞生活部。ファクス03(35595)6931。電子メールseika_tut@tokyo-np.co.jp 住所、氏名、年齢、電話番号を明記(紙上では匿名)。回答は紙上のみ。